令和2年12月

中札内村議会定例会会議録

令和2年12月3日（木曜日）

◎出席議員（7名）

1番	欠員	2番	中西千尋君
3番	黒田和弘君	4番	大和田彰子君
5番	北嶋信昭君	6番	船田幸一君
7番	宮部修一君	8番	中井康雄君

◎欠席議員（0名）

◎地方自治法第121条の規定による説明のための出席者

中札内村長	森田匡彦君	教育長	高橋雅人君
農業委員会会長	出羽義幸君	代表監査委員	木村誠君

◎中札内村長の委任を受けて説明のため出席した者

副村長	山崎恵司君	総務課長	川尻年和君
住民課長	高島啓至君	福祉課長	高桑佐登美君
産業課長	尾野悟里君	施設課長	氏家佑介君
総務課長	山澤康宏君	主査	
参事		総務課長	渡辺大輔君
住民課長	角玄光代君	補佐	

◎教育長の委任を受けて出席した者

教育次長 阿部雅行君

◎農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 中道真也君

◎職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長 岩崎孝哉君 書記 木村優子君

◎議事日程

日程第1		会議録署名議員の指名
日程第2		議会運営委員会の報告
日程第3		会期の決定
日程第4		諸般の報告
日程第5		閉会中の村内所管事務調査報告
日程第6		村政及び教育行政執行状況報告
日程第7	報告第4号	令和元年度中札内村教育委員会の活動状況に関する点検・評価の報告について
日程第8	議案第83号	中札内村議会議員及び中札内村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
日程第9	議案第84号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第10	議案第85号	中札内村立診療所条例の一部を改正する条例の制定について
日程第11	議案第86号	中札内村延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について
日程第12	議案第87号	中札内村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第13	議案第88号	中札内村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
日程第14	議案第89号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
日程第15	議案第90号	十勝圏複合事務組合規約の変更について
日程第16	議案第91号	中札内村立診療所の管理運営に係る指定管理者の指定について
日程第17	議案第92号	中札内村中島農業センターに係る指定管理者の指定について
日程第18	議案第93号	中札内村カントリープラザに係る指定管理者の指定について
日程第19	議案第94号	中札内村開拓記念館に係る指定管理者の指定について
日程第20	議案第95号	中札内村豆資料館に係る指定管理者の指定について
日程第21	議案第96号	中札内村地域集会所に係る指定管理者の指定について
日程第22	議案第97号	令和2年度中札内村一般会計補正予算について
日程第23	議案第98号	令和2年度中札内村国民健康保険特別会計補正予算について
日程第24	議案第99号	令和2年度中札内村介護保険特別会計補正予算について
日程第25	議案第100号	令和2年度中札内村後期高齢者医療特別会計補正予算について
日程第26	議案第101号	令和2年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算について
日程第27	議案第102号	令和2年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算について

◎開会宣告

- 議長（中井康雄君） ただいまの出席議員数は7人です。
定足数に達しておりますので、ただいまから令和2年12月中札内村議会定例会を開会いたします。
ただちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（中井康雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、6番船田議員と7番宮部議員を指名いたします。

◎日程第2 議会運営委員会の報告

- 議長（中井康雄君） 日程第2、議会運営委員会の報告を求めます。
議会運営委員会が終了し、報告書の提出がありました。
委員長の報告を求めます。
宮部議会運営委員会委員長。

（宮部修一議会運営委員会委員長登壇）

- 議会運営委員会委員長（宮部修一君） おはようございます。
令和2年中札内村議会12月定例会について、11月26日、全委員、副村長及び総務課長の出席のもとで、議会運営委員会を開催し、その運営について協議を行いましたので、内容をご報告いたします。
今定例会への村長提案は、初日は報告が1件、議案が20件で、報告については、教育委員会の活動状況点検・評価の報告であり、議案については、条例の制定が1件、条例の一部改正が6件、規約の変更が1件、指定管理者の指定についてが6件、一般会計及び特別会計の補正予算が6件となっており、そのほか、9月からの行政執行状況報告がなされます。
また、新庁舎外構工事の追加に係る補正予算が通過した場合、工事請負契約の変更の1件と札内川園地及び山岳センターに係る指定管理者の指定についての2件を10日の最終日に審議願います。
議会提案等では、諸般の報告、閉会中の所管事務調査報告が1件あり、請願・陳情等につきましては、陳情2件が提出されていますが、いずれも資料配布といたしました。
会期につきましては、本日から10日までの8日間であります。
一般質問は、3名から3問の通告がありましたが、これにつきましては、10日最終日に行う予定であります。
質の高い政策論議となりますようお願いいたします。
以上、協議内容についてご報告いたします。
- 議長（中井康雄君） 報告が終わりました。

◎日程第3 会期の決定

○議長（中井康雄君） 日程第3、会期の決定を議題にいたします。

お諮りします。

この定例会の会期は、本日から12月10日までの8日間にしたいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から12月10日までの8日間に決定いたしました。

◎日程第4 諸般の報告

○議長（中井康雄君） 日程第4、諸般の報告をします。

9月定例会以降、閉会中における議会の活動状況と監査委員の例月出納検査報告書並びに定期監査所見については、印刷したものをお手元に配布しましたので、了承願います。

◎日程第5 閉会中の村内所管事務調査報告

○議長（中井康雄君） 日程第5、閉会中の村内所管事務調査報告について、両委員会による合同村内所管事務調査報告書の提出がありましたので、報告を求めます。

両委員会を代表して、中西総務厚生常任委員会委員長。

（中西千尋総務厚生常任委員会委員長登壇）

○総務厚生常任委員会委員長（中西千尋君） それでは、総務厚生常任委員ならびに産業文教常任委員会合同村内所管事務調査報告をいたします。

赤ナンバー4番をご覧ください。

総務厚生常任委員会と産業文教常任委員会は、今年度の合同村内所管事務調査を10月16日に実施し、村公共施設の管理状況、工事の進捗・完成状況、道道静内・中札内線、札内川上流地域などについて調査をいたしました。

まず、交流の杜では、道道取付道路拡張工事の完成状況を確認いたしました。

施設への進入口と道幅が2倍程拡張されて、車両の対面通行が可能となり、駐車場へもアクセスしやすいなど利便性が大幅に向上したと感じております。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の施設利用率が昨年度と比較して8割減とのことでしたが、今後の利用率の回復を期待いたします。

次に、新庁舎周辺歩道整備について、東1条通り、新庁舎西側道路、郵便局駐車場横の歩道整備状況を確認しました。

新庁舎周辺道路は車両の交通量が多くなることが予想され、通学路でもあるため、歩行者の安全を最優先に、冬期間の除雪を含め適切な維持管理を望みます。

鉄道記念公園近くにある公衆トイレの改修については、洋式化が完了していましたが、視察の10月16日時点での男性トイレの手洗い場2カ所のうち、1カ所が故障中であったため、早期の修繕をお願いいたします。

また、施設の周辺は樹木が込み過ぎて日当たりが悪いため、支障木等を間伐し、美しいもみじは残すなどの環境整備が必要であると思われまます。

公園利活用計画が進んでいく予定であることから、鉄道公園との一体的な整備について

検討されることを望みます。

保健センター内の一室を妊産婦や乳幼児などが利用できる相談室に改修が行われていた子育て世代包括支援センターについては、利用価値が高いと思われることから、対象者への周知を徹底し、利用者数の増加を図られることを期待します。

消防庁舎増築・改修工事については、団員の詰め所となる現消防庁舎1階部分の改修状況と増築棟の建築の進捗状況を確認しました。

増築棟の建設により、堆雪スペースが無くなるため、冬期間の除雪・排雪作業について、適切な対応を望みます。

景観支障木伐採については、桜六花公園の桜の木の生育・管理状況を確認しましたが、風当たりが強い場所の木の成長の悪さが目立ちました。

元気な木をどうやって管理していくかが課題となっております。

今後は植栽や防除に加え、土壌調査や有機肥料の施肥を行うなどして、桜六花公園が村の観光資源として更なる活用ができるよう丁寧な維持管理を希望します。

札内川園地整備状況については、トレーラーハウスとレストハウスの改修状況を確認しました。

トレーラーハウスの外壁が、若干、傷みはじめているように見受けられることから、冬期間の管理徹底を望みます。

また、レストハウス西側にあるバーベキューハウスの屋根塗装が剥がれていたことから、早めに改修し、利活用の促進と維持管理を望みます。

静内中札内線状況調査では、昨年の雪崩や土砂崩れ等の被害は少なく、ポロシリ覆道まで進入可能となっており、平成29年度の雪崩や現道の維持管理、併せて、上札内橋架替え工事の進捗状況を確認しました。

静内中札内線の管理には毎年多額な費用を要していますが、水道水、農業用水、発電用水の水源地として水質保全管理とダム維持管理のために道路の補修・維持が必要であるという観点から、今後とも適正な管理がされていくことを求めます。

以上、合同村内所管事務調査といたします。

○議長（中井康雄君） これで合同村内所管事務調査の報告を終わります。

◎日程第6 村政及び教育行政執行状況報告

○議長（中井康雄君） 日程第6、村政及び教育行政執行状況報告について、村長と教育長から申し出がありますので、これを許します。

はじめに、森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 定例会の開会に当たり、9月以降の村政執行状況の主なものについてご報告申し上げます。

以下、所管別に報告させていただきますが、一部印刷を持って配付させていただいておりますので、ご覧いただきたいと存じます。

はじめに総務課所管事項について申し上げます。

総務グループについてですが、児童への防災に対する理解を図るため、9月23日、中札内小学校において2年生から6年生までの小学生180名を対象に、1日防災学校を開催し、防災かるたやハザードマップを活用して災害への危機意識を促し、防災意識の高揚を図る防災学習を実施いたしました。

また、本村における地域の防災力向上を図るため、9月29日、文化創造センターにおいて総合防災訓練を実施いたしました。

十勝沖を震源とする震度6強の地震により甚大な被害が発生し、余震が継続することを想定した訓練で、小中学校、消防団、福祉団体の職員や村内団体などの参加のもと、北海道危機対策課と連携した避難訓練、段ボールを使った避難所の設営や新型コロナウイルス感染の対策を考慮した避難者の受け入れなどを行いました。

消防訓練においては、倒壊した住宅や車両に閉じ込められた人を救出する訓練も実施いたしました。

さらに、11月11日、上札内交流館で開催されました老人クラブ寿会の定例会に出向き、防災講座を実施して、地震と洪水における初動の対応と、いつどこで発生するか分からない災害に対して、日ごろからの備えが大切であることを伝えました。

とかち広域消防事務組合における制度未統一案件の検討状況についてですが、十勝圏広域消防運営計画に則り、広域化後5年をめどに検討してまいりました。

既存職員の給与統一につきましては、新規採用職員と同様に現在の組合給与条例へ制度移行するため、3年間の現級保障を行いながら制度統一を図ります。

職階級については、国が示しております消防吏員の階級の基準に基づき、各階級で適用する基本的な役職を定め、移行・統一を目指しております。

勤務形態につきましては、職員を二つのグループに分け、1日ごと交替で勤務する2部制へ統一するほか、始業・終業時間、休憩時間を統一しております。

次に企画財政グループについてですが、令和3年度の予算編成については、職員への説明会を11月4日に開催し、予算編成の基本的な考えを示したところであります。

令和3年度の地方財政の見通しについてですが、総務省の概算要求においては、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の大幅な減少が見込まれる中、地方税と地方交付税などを合わせた一般財源総額は、令和2年度と同水準の予算を確保するとしておりますが、国の一般会計における概算要求総額は過去最大規模となっており、今後の国の予算編成過程の動向を注視する必要があります。

令和3年度は、道路や各公共施設等の老朽化対応にかかる経費も増加が見込まれ、地方債の発行による公債費の増加や基金の取り崩しは避けられない状況であります。

また、少子高齢化に伴う医療費や社会福祉などの扶助費の増加も見込まれます。

社会経済情勢を見極め、状況の変化に応じた適切な対応が図れるよう、一層の危機感を持って予算編成に取り組んでまいります。

協働のまちづくりの取り組みについては、次期まちづくり計画策定にあたり、村民の皆さんで村の将来について語り合う座談会を10月28日と11月11日の2回開催いたしました。

初の試みとして、無作為に選んでご案内させていただいた方や案内チラシなどを見て応募いただいた方など、46名の参加があり、さまざまな視点で今後の具体的な取り組みなどについて意見をいただきましたので、これからのまちづくりの参考にしてまいります。

また、中学3年生を対象に、中札内村について学び、まちづくりに関心を持ってもらうことを目的とした模擬議会を11月20日に開催いたしました。

ふるさと会については、10月の札幌ふるさと会総会と12月の東京ふるさと会総会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

ふるさと会会員の皆さまとは交流が図れない状況にあることから、会員各位に枝豆などの地場産品をお送りさせていただきたく、本定例会補正予算として計上しております。

次に、住民課所管事項について申し上げます。

住民グループについてですが、10月末現在の有害鳥獣駆除の状況については、エゾシカ192頭、キツネ151頭、アライグマ9頭、ヒグマ2頭、カラス690羽、ドバト459羽となっており、捕獲・駆除にあたっていただいた猟友会会員の方々のご協力に感謝申し上げます。

村内環境美化の取り組みですが、日本で最も美しい村連合に加盟する道内の自治体へ呼びかけし、本年度はビューティフルデーの名称で10月4日に一斉で実施いたしております。

本村においては、河川敷運動公園周辺のごみ拾いに100名余りの方々に参加をいただきました。

中札内村立診療所の関係では、翌年度からの管理運営並びに診療体制の移行に向けての調整を進めているところですが、本定例会において、指定管理者の指定及び村立診療所条例の一部改正を議案として提出するほか、診療所内部の改修工事等に係る費用を補正予算として計上しております。

このあと年末に向け、運営体制や診療方法などの詳細を具体化していくこととしておりますので、村議会を始め、地域住民の皆さまには、あらゆる機会を利用し情報提供を行ってまいります。

次に、福祉課所管事項について申し上げます。

福祉グループについてですが、認知症予防の普及啓発として、10月19日、文化創造センターを会場に、認知症予防の暮らし方をテーマとした講演会を、コープさっぽろと共同開催し、一般住民や福祉関係者を含む46人の方にご参加をいただきました。

NPOソーシャルビジネス推進センター理事長相内俊一氏を講師に招き、認知症の発症や進行を防ぐには、生活習慣病を予防することや正しい姿勢で運動を継続することなどの重要性を分かりやすく解説していただきました。

本年度の福祉灯油の支給については、低所得層の高齢者などが冬期間に安心して暮らしてもらえるよう、燃料価格の情勢から1世帯あたり5,000円分の灯油購入券などによる支給を見込んでおります。

次に保健グループについてですが、6月より開始いたしました七色献立プロジェクト健康ポイント事業は、現在700人を超える参加登録をいただいております。

コロナ禍の中においても、日常的に活動量計を活用し、楽しみながらウォーキングを継続できる環境づくりの一環として、9月14日から30日間、上土幌町及び東神楽町との合同によるバーチャル歩数イベント三町村歩数大決戦を開催いたしました。

団体戦では3位の結果となりましたが、多くの方がご自身のスマートフォンや公共施設に設置するデジタルサイネージ等で途中経過を確認しながら、ウォーキングに取り組みました。

インフルエンザワクチン接種についてですが、今年は新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されており、特に65歳以上の方を対象とした接種は、例年より時期を早めて10月1日から優先して接種を開始いたしました。

対象となる65歳以上の高齢者1,156人へ個別に予防接種を呼びかける案内を送付し、11月14日現在、724の方が接種を終えております。

また、乳幼児から高校3年生相当の年齢までの対象者601人へ個別に予防接種を呼びかける案内を送付し、10月26日より接種を開始しておりましたが、現在、中札内村診療所で確保していたインフルエンザワクチンの在庫がなくなり、接種を中断している状況で

す。

近隣の医療機関においても、同様に不足している状況となっており、今後の入荷できる目処は未定となっておりますが、状況が変わりましたら、情報無線等でお知らせしてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

この後も、より多くの方に受けていただくため、効果的に周知を図り、発病と重症化の防止に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策についてですが、道内および十勝管内においても感染者が増加している状況の中、10月29日には、第11回目の対策本部会議を開催し、引き続き感染防止対策の実践強化について確認するとともに、発熱等の体調不良時の受診方法と相談窓口の案内や新北海道スタイルの徹底について、11月広報で全戸に折込みチラシを配布しております。

道内においては、札幌市を対象に、道独自の警戒ステージ4相当の強い措置が講じられ、全道のステージは3を維持しつつも、12月11日まで、集中対策期間を延長し、感染拡大防止策の強化を図っております。

管内においても、感染への不安が身近に感じられる状況ですが、改めて手洗いの徹底、マスクの着用、3密の回避をはじめとした新北海道スタイルの感染予防行動の実践など、今後も感染状況に応じて注意喚起等を実施してまいります。

次に、保育園についてですが、中札内きらきら保育園の生活発表会を、11月28日に開催いたしました。

感染予防対策のため開催方法の検討を重ね、4歳児と5歳児のクラス発表は、学年ごとに保護者を入れ替えて見ていただきましたが、元気にのびのびと成長する子どもたちの姿や、練習の成果を十分に発揮した発表会となりました。

また、発表の機会がなかった3歳児以下のクラスは、総練習の模様を撮影したビデオを保護者に提供しております。

感染症が流行しやすい時期を迎えていることから、子どもたちの健康状態について、引き続き健康観察カードにより保護者の方と情報共有しながら、健康管理に留意して保育を行ってまいります。

次に、産業課所管事項について申し上げます。

本年の農業生産の状況ですが、農産にあっては、5月から6月は雨不足、6月上旬から7月中旬、9月中旬の多雨及び日照不足の影響で、一部の作物では被害を受ける状況となりました。

特に豆類は、発芽時の天候状況や収穫期前の多雨により収量は確保されたものの、品質は非常に厳しい状況となっております。

このほか、小麦や馬鈴薯は平年並みの状況となっており、ビートは、糖分がやや低めの状況にあります。

畜産にあっては、生乳は収量、単価も比較的良好に推移しており、安定している状況にあります。

なお、肉牛については、新型コロナウイルス感染症の影響により、需要が減少し単価も低迷していることから減少傾向にあります。

また、肉豚については生産量の増加により、昨年度を上回る見込みとなっており、畜産全体の生産高は前年を若干上回る見込みであります。

今年の粗生産高は、現在、中札内村農業協同組合の方で推定額の取りまとめを行っておりますが、過去最高であった昨年度よりも減少する見込みとなっております。

今年是不順な天候とコロナ禍という状況の中、懸命に努力されました生産者の皆さまをはじめ、関係機関の方々のご労苦に対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

食育・地産地消関係では、中札内産食材の消費拡大と食の推進パートナー登録制度の普及を目指した、粋匠品・食の応援団スタンプラリーは、総勢446名から応募があり、抽選により村の特産品などを発送しております。

応募された方の内訳は、村内106名、道内306名、道外34名と、コロナ禍においても多くの方に中札内産食材を味わっていただきました。

大規模草地形育成牧場は、夏季の放牧を終え、10月中旬以降、順次退牧を行い、10月末時点で599頭の舎飼を行っております。

林業関係では、村有林整備事業として、間伐25.12ヘクタール、保育間伐22.23ヘクタールを完了し、地拵え6.16ヘクタールも12月中旬には完了する予定となっております。

商工関係のうち、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策では、村民に村内飲食店を利用していただくための飲食店応援クーポン券事業を10月1日より開始しており、10月末の利用については17店舗で105万円の利用となっております。

また、村外の方に村の宿泊施設を利用していただくための“ようこそ中札内村”宿泊費助成事業は、4事業者で39件、13万円の利用となっております。

観光関係では、新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントが中止となっておりますが、観光協会では帯広市の藤丸で11月12日から開催されたとかち大収穫市うまいもんまつりに参加し、地場製品のPRと物販を行っております。

札内川園地は新型コロナウイルス感染症の影響で、キャンプ場の利用客が増加したことにより、昨年度よりも7,400人程度多い、約2万7,000人の入り込みとなっており、10月31日に今期の営業を終えております。

道の駅なかさつないの入り込み状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により来場者数は大幅に減少し、10月末現在44万4,000人で、前年同期比21万人、32.3%の減少、総売上額は1億5,200万円で、前年同期比3,700万円、19.5%の減少となっております。

なお、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行ったうえで、道の駅フェアを10月4日に開催し、村民も含め多くの方に秋の味覚を味わっていただきました。

次に、施設課所管事項について申し上げます。

主な工事の状況ですが、土木関係では、今年度発注の道路橋梁関係ほかすべての工事が完了しております。

建築工事では、村営住宅改修工事の中札内団地2棟及びあけぼの団地3棟のうち2棟の改修工事を完了し、入居者の移転を随時行なっております。

また、新庁舎工事全体の進捗状況は68%、消防庁舎工事全体の進捗状況は52%で、順調に工事が実施されている状況となっております。

定住対策事業では、中札内スタイル住宅建設奨励金3件と移住促進奨励金1件を交付しております。

村営住宅入居関係では、一般公募住宅で2件、随時募集住宅で3件の入居を決定しております。

本年度の除雪対象路線等は、村道延長で161キロメートル、歩道延長で24キロメートル、駐車場等の公共施設では46カ所を行い、冬期間通行の安全性を確保しております。

なお、11月下旬に例年実施してまいりました、共同企業体運営委員会による安全研修会は、

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面により交通安全や労働安全対策に対する通知を行い、除雪体制の準備に努めていただいております。

水道関係では、今年度の水道メーター取り替え工事が完了しているほか、浄水場ろ過池のろ過砂洗浄などの機能維持に係るメンテナンスを終えております。

また、今年度緊急対策として実施しております中島浄水場急速ろ過施設設置工事は58%の進捗状況となっております。

下水道関係では、汚泥処理を正常に保つため、微生物による処理の調整を図り、機能回復に努めております。

以上、主要事項について申し上げ、報告に代えさせていただきます。

○議長（中井康雄君） 次に、高橋教育長。

（高橋雅人教育長登壇）

○教育長（高橋雅人君） 定例会の開会にあたり、9月村議会定例会以降の教育委員会所管事項の主なものについて、ご報告させていただきます。

児童生徒の活躍として、上札内小学校6年生三浦紡子さんが、北海道いじめ問題対策連絡協議会が主催する絆づくりメッセージコンクールポスター部門小学校の部で十勝管内最優秀賞に選ばれ、さらに各管内の最優秀賞の中から選考する全道審査においても最優秀賞に選ばれました。

受賞した作品は、よつば乳業の協力により啓発用ポスターに、作品、氏名、学校名及び学年が掲載され、全道で掲示されます。

次に、10月11日、江別市で開催されました第44回JSCA北海道ブロッククラブ対抗兼選手権水泳競技大会女子8歳以下の部門で、上札内小学校3年生内野沢滯さんが、50メートル自由形、100メートル背泳ぎ、200メートル個人メドレーの3種目で優勝いたしました。

また、鹿追町アートロード商店街ウィンドギャラリー活用実行委員会が主催する第14回花の絵コンテストにおいて、上札内小学校5年生川島那月さんが、最優秀の大賞を受賞いたしました。

受賞した作品は村文化祭の作品展示コーナーに特別展示をし、多くの村民にご覧いただきました。

学校教育関係では、新型コロナウイルス感染症により開催時期をずらし、内容も工夫を加えた運動会・体育祭など各種学校行事が9月から11月にかけて小中学校で行われました。

修学旅行についても、中学校が10月21日から2泊で、小学校が11月18日から1泊で、感染症対策を講じ、バスを1台増車し、ともにアイヌ文化の伝承施設ウポポイを見学し、道央圏を除いた地域で実施いたしました。

併せて、中札内小学校は、今年度、北海道についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育む活動に取り組む北海道ふるさと教育・観光教育推進事業の実践校の指定を受け、アイヌの人たちの歴史や文化を学んでおります。

また、11月から12月のいじめ根絶強化月間に向け、10月30日に中札内村いじめ根絶に向けた子ども会議を開催し、小中学校の児童会・生徒会の代表が各学校の取り組みといじめ根絶に向けた宣言を協議いたしました。

宣言では、「友だちと心のそこから一緒に笑い合える中札内の子」が決定され、今後学校における周知活動や広報紙などに掲載し、村全体でいじめの根絶に向けた機運を高めてまいります。

児童数の減少が見込まれる上札内地域との意見交換会を10月13日に行いました。

上札内小学校の存続策として、豊かな自然の中でさまざまな体験活動や地域住民との交流を行う山村留学の実施について多くの意見を交わし、参加者全員の理解を得た中で、現在は地域の協力体制の構築と募集活動を行っております。

学校給食事業では、児童・生徒に、地元で生産、製造されている安全・安心な食材に対する理解や愛着をより一層深めてもらおうと、11月12日に、本村の思いやり生乳や農畜産物・加工食材を使用したふるさと味覚給食を実施いたしました。

次に、社会教育の状況ですが、なかさつ音まちプロジェクトは、当初5月にファツィオリピアノの初コンサートの予定をしていた三谷温さんと小林美恵さんによるファツィオリピアノ&ヴァイオリンコンサートを9月12日に開催し、約160名ほどの参加をいただきました。

三谷さんにはこれまでの村文化活動への尽力に対して感謝状を贈呈いたしました。

また、10月10日に村松健ピアノリサイタルを開催いたしました。

演奏に先立ち、村に三体の彫刻を寄贈いただいております木田詩子さんの紺綬褒章の伝達式を執り行っております。

音まちプロジェクトは、6月まで事業が行えなかったことにより、新たにユーチューブによる動画配信を行っておりますが、今回の二つのコンサートも演奏時間を短縮して配信を行い、村の取り組みを広く発信しております。

文化事業では、村民文化祭は十勝管内での新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受け、オンステージと文化賞等の授賞式は中止といたしましたが、作品展示では、村民の皆さまの幅広いジャンルの作品が多数出品されました。

また、文化月間事業では、後援事業を含め7事業が実施されました。

今回も企画から開催まで、多くの村民の皆さまからの参加、協力を得て開催いたしました。

文化賞等の表彰については、3月のスポーツ賞等の表彰時に併せて行ってまいります。

なお、今年度の中札内村文化賞は1名、文化奨励賞は5名と1団体に授与を決定しております。

交流事業関係では、青少年国際交流派遣研修事業は、新型コロナウイルス感染症による出入国の制限があることから、今年度の事業を中止いたしました。交流先のアメリカ・ハワイ州エバ・マカイ・ミドルスクールと交流再開はすでに合意しており、外国語を学ぶ機会として、現在はオンラインや手紙による交流について協議を行っております。

川越市訪問交流事業も、例年行っております1月の派遣を中止いたしました。

今年度は富山県福野地域との交流も含めて、すべて中止となりましたが、交流事業についての理解が途切れてしまうことがないように、前年度の活動について、各学校に活動内容の展示物を掲示してまいります。

遊びながら英語に親しむキッズ・イングリッシュを10月31日、文化創造センターで開催し、ハロウィンの仮装をした幼児から小学生までの44名が、英語に親しめるようなゲームを通し、楽しみながら英語を学びました。

図書館事業では、9月5日に写真絵本作りワークショップを、10月31日に木工ワークショップを、11月7日に小学生を対象にした図書館のお仕事チャレンジ講座を、11月22日には絵本作家真珠まりこさんの講演会を開催しております。

また、11月21日から28日までの期間に古本市を開催し、図書館での役目を終えた図書のリサイクルを行っております。

体育関係事業では、村民スポーツ大会村民登山会を9月5日、大雪山黒岳に30名が参加し、9月6日にパークゴルフ大会を札内川総合運動場において34名が参加し、11月22

日にゲートボール大会を屋内多目的運動施設において22名が参加して行われました。

また、10月11日に、札内川総合運動公園で約100名が参加して、ファミリーマラソン大会を開催しております。

運動不足やストレスの解消を行うための運動教室は、9月以降も毎月2回開催し、定員の20名近い参加者でストレッチや足腰の運動などを行い、1月まで継続して行っています。

ジュニア向けの教室もトランポリンや跳び箱を活用して、10月24日と11月7日の2回開催しております。

以上、主要事項について申し上げ、報告に代えさせていただきます。

○議長（中井康雄君） これで各執行状況の報告は終わりました。

◎日程第7 報告第4号 令和元年度中札内村教育委員会の活動状況に関する点検・評価の報告について

○議長（中井康雄君） 日程第7、報告第4号、令和元年度中札内村教育委員会の活動状況に関する点検・評価の報告について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、報告書の提出がありました。

提出者からの説明を求めます。

高橋教育長。

（高橋雅人教育長登壇）

○教育長（高橋雅人君） 中札内村教育委員会の活動状況に関する点検・評価についてご報告申し上げます。

令和元年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により行いましたので、別冊のとおり提出し、ご報告申し上げます。

なお、別冊は教育委員会議の議案として承認決定されたものであります。

詳細につきましては、教育次長より説明を申し上げますので、内容をご覧いただき、今後の教育行政の執行にあたり、ご助言をお願い申し上げます、報告といたします。

○議長（中井康雄君） 補足説明、阿部教育次長。

○教育次長（阿部雅行君） 補足説明、申し上げます。

教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たすために、教育委員会の事務の管理、執行状況について、点検評価を行い、報告書を作成いたしました。

今回、別添黒ナンバー6の報告書を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、中札内村議会に報告をするものです。

教育委員会では、点検評価の実施を通じて、施策効果の検証と改善を図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいりますので、報告書の内容をご覧いただき、ご助言をいただければと考えております。

なお、点検及び評価を行うにあたりましては、教育に関し、学識経験を有するものの知見の活用を図るとされており、大和田貢一氏から指導助言をいただいておりますことを申し添え、補足説明とさせていただきます。

○議長（中井康雄君） 説明が終わりました。

この報告書については、報告済みとします。

休憩をしたいと思います。
11時まで休憩いたします。
暫時休憩いたします。

休憩 午前10時45分
再開 午前10時59分

○議長（中井康雄君） それでは、皆さんお揃いになりましたので、休憩前に引き続き会議を開きたいと思います。

◎日程第8 議案第83号 中札内村議会議員及び中札内村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

○議長（中井康雄君） 日程第8、議案第83号、中札内村議会議員及び中札内村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定についてを議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

公職選挙法の改正に伴い選挙公営が拡大されたことから、本村における議会議員及び村長選挙についても選挙運動の一部を公費負担しようとするものであります。

詳細については、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 議案第83号、中札内村議会議員及び中札内村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

黒ナンバー13番の議案関係資料1ページをお開き願います。

はじめに、本条例の制定の趣旨であります、多様な人材の議会参加を促すため、公職選挙法が本年6月12日に一部改正され、町村議会議員選挙の供託金制度が導入され、15万円の供託金が必要となりました。

また、議会議員の選挙において、ビラの頒布ができるよう制度化され、選挙公営の対象となっております。

このことを受けて、本村においても、本条例を制定し、国が定める選挙運動の一部を公費負担しようとするものでございます。

公費負担の内容についてであります、選挙運動用自動車に係る公費負担については、一般運送契約、いわゆるタクシー方式の場合につきましては、1日当たり6万4,500円が限度額となります、車両の借入、燃料の供給、運転手それぞれ個々で契約を取り進める場合につきましては、1日当たりの限度額は記載されている金額のとおりでございます。

次に、選挙運動用ビラの作成に係る公費負担についてです。

1枚当たり7,51円が限度額となり、上限枚数につきましては、議会議員が1,600枚、村長が5,000枚となります。

次に、選挙運動用ポスターの作成に係る公費負担についてですが、1枚当たり3,000

円が限度額となり、上限枚数につきましては、ポスター掲示場の掲示数を考慮し、その1.5倍の枚数、26枚が上限枚数になります。

次に、黒ナンバー5番の議案書3ページをお開き願います。

3ページから6ページに渡って、制定しようとする本条例を記載しております。

制定の内容でございますが、第1条は、趣旨。

第2条につきましては、選挙運動用自動車の使用の公費負担。

第3条は、選挙運動用自動車の使用の契約締結の届出。

第4条は、選挙運動用自動車の使用の公費負担及び支払いの手続き。

第5条は、契約の指定。

第6条につきましては、選挙運動用ビラの作成の公費負担。

第7条は、選挙運動用ビラ作成の契約締結の届出。

第8条は、選挙運動用ビラ作成の公費負担及び支払い手続き。

第9条は、選挙運動用ポスターの作成の公費負担。

第10条は、選挙運動用ポスターの作成の契約締結の届出。

第11条につきましては、選挙運動用ポスターの作成の公費負担及び支払い手続き。

第12条につきましては、委任。

それぞれ規定しているものでございます。

施行期日につきましては、公職選挙法の一部改正の施行日である令和2年12月12日から施行しようとするものでございます。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第83号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） それでは、1、2点お聞きをしたいというふうに思いますが、この関係については、全国町村議会の議長会として、長年の課題であった交付負担をすべきだということが条例で定めるという、こんな形になっているのだなというふうに思うのですが、選挙運動用自動車の関係については、基準額がこういうことですか。

そして、選挙運動用ビラの作成に係る公費負担ということで、議会議員については1,600枚、そして1枚当たり7円51銭ということなのだけど、それをはじくと1万2,000円なのだよ。

何か随分安くないのかなと思うのですが、基準ですからこれ以上高いものはつくったらだめだよ、それについては交付負担をしないよということなのですが、そこら辺の、言ってみれば1,600枚は規定で決まっているわけですから、7円51銭という単価について、変えられないものなのかどうなのか。

そこら辺の見解と、あと、ポスターの作成に係る費用については、これはうち独自ですよ。

選挙箇所17カ所ですね、その1.5倍で26枚まで公費負担をするよ。

これについては3,000円ということですから、大体こんなようなものなのかなと理解するのですが、そこら辺について、1点教えていただきたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 1枚当たりの限度額7.51円の増額が見込めないかという質問だったかと思えます。

これも本村も含めいろいろ協議した結果、7.51円が妥当な金額というような形で、公職選挙法に基づく改正、今回こういうふうに行っておりますけれども、この7.51円と限度額とさせていただきたいと、させていただくというような提案でございます。

○議長（中井康雄君） 3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） そういうことで7.51円ということで決めたのでしょうか、ほかの町村というのかな、見ると、7.51円ということだから、全国統一で7.51円ということで決めてあるから、本村で安いということで10円にするとか20円にするとかということではできないという、そういう解釈ですか。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） この部分につきましては、全国に合わせるというような形を取らせていただきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（中井康雄君） ほかに質疑はありませんか。
7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） 1点お伺いいたします。

供託金ですけれども、村長50万円、議会議員15万円、これは没収されない場合に限るということでございますけれども、これ没収もしされる場合というのはどのような条件なのか。

その辺説明をいただきたいと思います。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 供託物の没収に関してですが、まず、有効投票数があります。これ分の議会定数、うちで言えば8名となりますが、議会定数で有効投票数を割った数の10分の1の投票数となります。

例えば、有効投票数が1,000といたした場合、議員定数が8名でございますので、125票が基準となりまして、その10分の1ということになりますので、13票を下回ると没収されるということになります。

○議長（中井康雄君） よろしいでしょうか。

ほかに質疑はございますか。

なければ、これで質疑を終わります。

議案第83号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第83号、中札内村議会議員及び中札内村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第83号は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 議案第84号 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（中井康雄君） 日程第9、議案第84号、財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、行政財産の一部である道の駅の無償貸付けを検討することから、条例を改正するものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明を申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 議案84号、財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

黒ナンバー13番の議案関係資料2ページをお開き願います。

今回の改正は、今後、行政財産の一部を無償貸付けが、道の駅なかさつないにおいて見込まれることから、改正を行うものでありますが、道の駅なかさつないについては、北海道開発局帯広開発建設部と防災拠点化に関する協定を締結しており、本村においては、地域防災計画上、避難場所と位置付けられております。

災害時において、地域住民を含めた避難支援及び安全確保を図ることを目的に、国において、貯留弁付マンホールや緊急貯水槽など、村からの行政財産の無償貸付けを受けて、設置を取り進めようとするものでございます。

これにより、第4条の普通財産の貸付または減額貸付の次に、行政財産の貸付等の1条、前条の規定は、行政財産の貸付け、またはこれに地上権もしくは地役権を設定する場合に準用する、を加えるものでございます。

なお、この条例の施行については、附則のとおり、公布の日から施行するものでございます。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第84号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第84号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第84号、財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第84号は原案のとおり可決されました。

◎日程第10 議案第85号 中札内村立診療所条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（中井康雄君） 日程第10、議案第85号、中札内村立診療所条例の一部を改正する条例の制定についてを議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

令和3年4月1日からの中札内村立診療所の管理・運営及び診療業務を指定管理者方式へ移行することに伴い、新たな医療の提供体制に沿った関係条文の整理を行うため、現行条例の一部改正を行うものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） それでは、補足説明いたします。

黒ナンバー13番、議案関係資料の3ページをお開きください。

今回の一部改正は、村立診療所の翌年度からの指定管理に伴うものとなっております。

まず、上段、第4条、診療科目では、第1号の内科以外の科目を削り、第2号に小児科を加えるものであります。

改正前、第5条、定員は、病床数を規定しておりますけれども、病床廃止に伴い条文を削除、改正前の6条、診療を第5条に繰り上げし、見出し等を業務に改めるほか、将来的な介護保険の居宅介護サービスを想定し、実施を可能とした条文を第2項で追加するものであります。

次に、第6条、職員の確保は、診療所長等の配置や役割を定める条文となっておりますけれども、不測の事態を生じた際や今回の相手方が医療法人組織でもあることから、指定管理者の場合を除く文言を付しての改正としております。

続きまして、ページ下段、第7条は、見出しを使用料、手数料の額及び納付と改めるほか、第1項では、国が定める診療報酬の算定方法を基本とすること。

4ページにかけての第2項、第1号及び第2号では、第1項によらない利用料金の上限額を規定するものであります。

第3号、その他の料金は、村長が定めるものとしておりますけれども、改正前の別表第1を条例施行規則へ移行し、別に定めることとしております。

続きまして、ページ中段、第8条、利用料金の減免は、見出しを含めた文言の修正によるものです。

次に、改正前の9条、組織は、全文を削除。

第10条、診療日と診療時間を第9条に繰り上げするとともに、診療日、時間の詳細は条例施行規則で別に定めるものとしております。

なお、ページ下段、改正前の第11条、入院及び退院は、病床廃止に伴い、全文を削除するものであります。

続きまして、5ページ、改正前の第12条、こちらの方は第10条に繰り上げし、見出し

を損害賠償義務に改めるほか、条文内の文言修正と加筆を行うものであります。

続きまして、改正前の第13条から第16条は、それぞれ2条ずつを繰り上げし、今回の一部改正に伴う条文内の文言修正を行うものとなります。

続きまして、ページ下段、改正前の第17条、これは第15条に繰り上げをし、見出しを利用料金の取り扱いに改めるほか、第2項で利用料金の設定変更に関する規定並びに6ページにかけまして、第3項で利用料金の減額、免除に関する規定をそれぞれ追加するものであります。

最後になりますが、第16条、委任は、見出しの修正と今回の指定管理者への移行に伴い、条例規則だけでは網羅できない部分があることから、村長が別に定めるとした文言を追加するものであります。

なお、本条例の一部改正は、令和3年4月1日から施行します。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第85号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） 1点だけ教えてください。

今、縷々住民課長の方から詳しく規定の内容等について説明があったのですが、聞いたのは、改正内容について指定管理に移行するという事で、内容がこのように変わっているかと思うのですが、聞きたいのは、何を基準にしてというかな、参考にしてというか、この一部改正の規定をしたのか。

そこら辺の総論についてお伺いしたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） ちょっと町村名は申し上げませんが、先行して指定管理で診療所の運営をやっているところの条例の方を見させていただいて、それをうちの形に合わせる形で改正しております。

○議長（中井康雄君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第85号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第85号、中札内村立診療所条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第85号は原案のとおり可決されました。

- ◎日程第 1 1 議案第 8 6 号 中札内村延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎日程第 1 2 議案第 8 7 号 中札内村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎日程第 1 3 議案第 8 8 号 中札内村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（中井康雄君） この際、日程第 1 1、議案第 8 6 号、中札内村延滞金徴収条例の一部を改正する条例等の制定について、日程第 1 2、議案第 8 7 号、中札内村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について、日程第 1 3、議案第 8 8 号、中札内村介護保険条例の一部を改正する条例の制定についての 3 件を一括して議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） ただいま、一括上程議題に供されました、提案の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、地方税法等の一部を改正する法律が令和 2 年 3 月 3 1 日に公布され、延滞金の割合等の特例の改正が令和 3 年 1 月 1 日から施行されることから、関係条例の一部改正を行うものです。

詳細につきましては、担当課長より説明を申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） それでは、補足説明させていただきます。

同じく黒ナンバー 1 3 番、議案関係資料の 8 ページをお開きください。

延滞金徴収条例の改正概要をもとに説明させていただきますけども、今回の改正は、上部法の特別措置法、地方税法の改正に伴うものとなっております。

延滞金徴収条例のほか、後期高齢者医療に関する条例及び介護保険条例における延滞金の割合の特例につきまして、同様の改正内容でありますので、一括して説明させていただきます。

改正の内容につきましては、ページ中段以下に記載しておりますけども、附則の第 3 項において、特例基準割合を延滞金特例基準割合の名称にすることに合わせ、平均貸付割合に年 1 % を加算した割合であるこの意味を持たせるものとなっております。

なお、改正概要の資料には、附則第 3 項において、特別措置法第 9 3 条第 2 項の規定を謳っていることから、その改正内容につきまして、現行並びに改正後の内容を標記しておりますので、参考としていただければと思います。

具体的には、現在の短期貸付の平均利率を求める期間が 1 カ月間前倒しとなるほか、財務大臣が告示した割合、これを示す期間が 1 カ月ほど前倒しになり、この動向に応じて延滞金の利率が変動することとなっております。

また、資料下段に記載しております附則第 4 項は、新たに追加するものでありますが、延滞金の計算結果、これにより、その割合が年 0. 1 % 未満であっても、年 0. 1 % の割合とする条文を新たに加えるものとなっております。

なお、9 ページから 1 1 ページにかけて、それぞれの条例の新旧対照表を資料として添付しておりますので、参考としていただければと思います。

最後になりますが、この条例改正は、令和3年1月1日から施行するものとし、同日以降の期間において対応する延滞金について適用いたします。

以上で補足を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

これら3件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第86号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第86号、中札内村延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第86号は原案のとおり可決されました。

議案第87号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第87号、中札内村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第87号は原案のとおり可決されました。

議案第88号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第88号、中札内村介護保険条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第88号は原案のとおり可決されました。

◎日程第14 議案第89号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（中井康雄君） 日程第14、議案第89号、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてを議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、地方税法施行令の一部を改正する政令が令和2年9月4日に公布され、国民健康保険税の改正部分について令和3年1月1日から施行されることから、本村条例の一部改正を行うものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明を申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） それでは、補足いたします。

同じく議案関係資料の12ページをお開きください。

今回の政令による改正内容につきましては、概要資料記載の（1）の①、個人所得課税の所得控除額の引き下げ並びに②の基礎控除額の引き上げで、それに伴い、国民健康保険税の軽減判定基準に係る見直しが必要となったものであります。

まず、1点目（1）でありますけれども、国保税条例第15条は、低所得者の国保税減額について規定しており、国保税を算定する際に、前年所得に応じて均等割と平等割を7割、5割、2割の率による軽減判定の定義が謳われているものであります。

ページ中段から次の13ページ上段、記載しております表のとおり、判定所得の基準額を現行の33万円から43万円に引き上げるとともに、7割軽減の判定基準表の下に記載がありますけれども、※1 給与所得者等の総称による給与収入額及び年齢に応じた公的年金等収入のある方が世帯の中に複数いる場合においては、その人数から1を差し引いた後の人数に10万円を乗じて加算した額をプラスし、所得判定するといった区分を新たに設けることとなっております。

第2点は、13ページ、（2）、こちらで1点目の見直しに合わせ、同条例附則第4項の公的年金等に係る国保税の課税特例の規定を改めるものであります。

こちらの方は、65歳以上の方を対象とした軽減判定の規定を現行の公的年金等所得から15万円を控除し、軽減判定する方法に加えまして、公的年金等収入が125万円を超える方が給与所得者等による軽減判定の対象者である旨を明記するものであります。

併せて、15ページ、新旧対照表下段のとおり、上部法の改正に準じまして、条文内の字句の加除等を行うものであります。

最後に、この条例の一部改正は、令和3年1月1日から施行し、改正後の規定は令和3年度からの国保税に適用するものであります。

以上で補足を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第89号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。
議案第 89 号に対する討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第 89 号、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第 89 号は原案のとおり可決されました。

◎日程第 15 議案第 90 号 十勝圏複合事務組合理約の変更について

○議長（中井康雄君） 日程第 15、議案第 90 号、十勝圏複合事務組合理約の変更についてを議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

(森田匡彦村長登壇)

○村長（森田匡彦君） 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、十勝圏複合事務組合で共同処理しておりますごみ処理施設及び最終処分場の設置、維持管理・運営に関する事務について、令和 3 年 4 月 1 日から鹿追町及び新得町を加えるため、組合理約の一部を変更する必要がありますので、地方自治法の規定に基づき協議を行うため提出するものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 議案第 90 号、十勝圏複合事務組合理約の変更について、補足説明を申し上げます。

黒ナンバー 13 番の議案関係資料 17 ページをお開き願います。

今回の十勝圏複合事務組合理約の変更については、十勝圏複合事務組合で共同処理する事務のうち、ごみ処理施設及び最終処分場の設置、維持管理、運営に関する事務について、これまで帯広市、音更町、清水町、芽室町、更別村、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌に当村を加えた 13 市町村で取り進めてまいりましたが、令和 3 年 4 月 1 日から、鹿追町及び新得町を加えるため、組合理約の一部を改正する必要があります。

地方自治法第 286 条第 1 項、組織する地方公共団体の数を増減し、一部事務組合の規約を変更しようとするときは、関係地方公共団体の協議によりこれを定め、都道府県知事の許可を受けなければならないとされております。

よって、本定例会で協議を行うものでございます。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第90号に対する質疑を行います。
質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第90号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第90号、十勝圏複合事務組合規約の変更についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第90号は原案のとおり可決されました。

◎日程第16 議案第91号 中札内村立診療所の管理運営に係る指定管理者の指定について

◎日程第17 議案第92号 中札内村中島農業センターに係る指定管理者の指定について

◎日程第18 議案第93号 中札内村カントリープラザに係る指定管理者の指定について

◎日程第19 議案第94号 中札内村開拓記念館に係る指定管理者の指定について

◎日程第20 議案第95号 中札内村豆資料館に係る指定管理者の指定について

◎日程第21 議案第96号 中札内村地域集会所に係る指定管理者の指定について

○議長(中井康雄君) 日程第16、議案第91号、中札内村立診療所の管理運営に係る指定管理者の指定について、日程第17、議案第92号、中札内村中島農業センターに係る指定管理者の指定について、日程第18、議案第93号、中札内村カントリープラザに係る指定管理者の指定について、日程第19、議案第94号、中札内村開拓記念館に係る指定管理者の指定について、日程第20、議案第95号、中札内村豆資料館に係る指定管理者の指定について、日程第21、議案第96号、中札内村地域集会所に係る指定管理者の指定についての6件を一括議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

(森田匡彦村長登壇)

○村長(森田匡彦君) ただいま、一括議題に供されました指定管理者の指定6件の趣旨について、ご説明申し上げます。

本案件は、中札内村立診療所ほか5施設の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき提案するものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長(中井康雄君) 補足説明、高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） それでは、補足説明申し上げます。

黒ナンバー５番、議案の２２ページをお開きください。

昭和６２年１１月より３３年間にわたり、中札内村立診療所の診療業務を受託していただいた鈴木医師が第一線から退くこととなり、その後における村立診療所の存続と、将来にわたっての医師確保、地域医療体制を確立する必要があるため、この間、複数年にわたり検討と協議を進めてまいりました。

道内外の自治体医療でこれまでの実績などを踏まえまして、公募によらない方法により、医療法人北海道家庭医療学センターを選定し、令和３年度から７年度までの５年間を指定管理者として指定を行うものであります。

以上で説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 次に、尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） それでは、議案第９２号から９５号、中島農業センター、カントリープラザ、開拓記念館、豆資料館の指定管理者の指定について、補足説明をさせていただきます。

黒ナンバー５番、２３ページをお開きください。

議案第９２号、中島農業センターの指定管理者の指定についてですが、中島農業センターは、中島農業センター運営委員会を令和３年４月から５年間指定するものです。

中島農業センターは、開設以来、中島地区の６行政区住民により運営委員会を組織し、地域住民が主体となって管理していることから、引き続き、公募によらないで選定するものです。

続きまして、議案２４ページ、議案第９３号、カントリープラザ及び翌ページ以降になりますが、議案第９４号、開拓記念館、議案第９５号の豆資料館の指定管理者の指定については、中札内村観光協会を令和３年４月から５年間指定するものです。

中札内村観光協会は、平成２８年度からカントリープラザを中心とした道の駅なかさつないの周辺施設を一体的に管理し、観光協会の事務所も豆資料館内に設置されていることから、引き続き、公募によらないで選定するものです。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 続きまして、氏家施設課主査。

○施設課主査（氏家佑介君） それでは、議案第９６号、中札内村地域集会所に係る指定管理者の指定について、補足説明申し上げます。

議案２７ページをお開きください。

地域集会所の指定管理者として、中札内村地域集会所つどいの家運営委員会を令和３年４月から５年間指定しようとするものであります。

地域集会所につきましては、開館当初から現在まで、めぐみ区、ひばりヶ丘区の住民により運営委員会が組織され、平成１８年から指定管理者として地域住民が主体となり効率的な管理運営を担っていることから、引き続き、指定管理者とするため、指定管理者選定委員会の審査を経て、指定管理者の指定手続き等に関する条例第５条、第１項、第１号に基づき、公募によらないで選定するものであります。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

これら６件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第91号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第91号、中札内村立診療所の管理運営に係る指定管理者の指定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第91号は原案のとおり可決されました。

議案第92号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第92号、中札内村中島農業センターに係る指定管理者の指定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第92号は原案のとおり可決されました。

議案第93号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第93号、中札内村カントリープラザに係る指定管理者の指定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第93号は原案のとおり可決されました。

議案第94号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第94号、中札内村開拓記念館に係る指定管理者の指定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第94号は原案のとおり可決されました。
議案第95号に対する討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。
これで討論を終わります。
議案第95号、中札内村豆資料館に係る指定管理者の指定についてを採決します。
この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第95号は原案のとおり可決されました。
議案第96号に対する討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。
これで討論を終わります。
議案第96号、中札内村地域集会所に係る指定管理者の指定についてを採決します。
この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第96号は原案のとおり可決されました。

◎日程第22 議案第97号 令和2年度中札内村一般会計補正予算について

◎日程第23 議案第98号 令和2年度中札内村国民健康保険特別会計補正予算について

◎日程第24 議案第99号 令和2年度中札内村介護保険特別会計補正予算について

◎日程第26 議案第101号 令和2年度中札内村後期高齢者医療当別会計補正予算について

◎日程第26 議案第101号 令和2年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算について

◎日程第27 議案第102号 令和2年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算について

○議長（中井康雄君） この際、日程第22、議案第97号、令和2年度中札内村一般会計補正予算について、日程第23、議案第98号、令和2年度中札内村国民健康保険特別会計補正予算について、日程第24、議案第99号、令和2年度中札内村介護保険特別会計補正予算について、日程第25、議案第100号、令和2年度中札内村後期高齢者医療特別会計補正予算について、日程第26、議案第101号、令和2年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算について、日程第27、議案第102号、令和2年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算について、6件を一括して議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

(森田匡彦村長登壇)

○村長(森田匡彦君) ただいま、一括上程議題に供されました、各会計補正予算の提案の趣旨についてご説明申し上げます。

はじめに、一般会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ3,207万1,000円を追加し、総額を66億2,183万3,000円に調整したものであります。

次に、国民健康保険特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ1,800万円を追加し、総額を4億7,845万6,000円に調整したものであります。

次に、介護保険特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ398万3,000円を追加し、総額を2億9,800万3,000円に調整したものであります。

次に、後期高齢者医療特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ84万7,000円を追加し、総額を7,294万7,000円に調整したものであります。

次に、簡易水道事業特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ71万4,000円を追加し、総額を1億3,264万8,000円に調整したものであります。

次に、公共下水道事業特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ266万1,000円を追加し、総額を3億369万8,000円に調整したものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいようお願い申し上げます。説明を終わります。

○議長(中井康雄君) 説明の途中ではございますが、これから昼食の休憩をしたいと思います。

午後1時まで休憩いたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時52分

再開 午後12時58分

○議長(中井康雄君) それでは、皆さんお揃いになりましたので、休憩前に引き続き会議を開きたいと思っております。

補足説明をお願いいたします。

はじめに、川尻総務課長。

○総務課長(川尻年和君) 一般会計補正予算の補足説明を申し上げます。

黒ナンバー7番、一般会計補正予算書により、歳出の主なものから説明させていただきますが、歳出に関係ある特定財源について、併せて説明させていただきますので、歳入では同様の説明を省略させていただきます。

また、概ね50万円以上の増額補正、減額補正について説明申し上げますが、委託料、工事請負費、備品購入費の減額につきましては、50万円以上であっても、入札等の執行及び契約額の確定による補正の理由の場合につきましては、省略させていただきます。

最初に、総体的な事項といたしまして、先の11月27日の臨時会で決定いただきました議員報酬、村長等給与、職員の給与に関する条例の一部改正による人件費の補正について、説明申し上げます。

黒ナンバー7番、一般会計補正予算書の52ページをお開きください。

特別職の表、下段、比較の欄でございますが、長等の欄、期末手当、9万8,000円の減額は、0.05カ月引き下げたことによるものであります。

次に、53ページをご覧ください。

一般職に係る給与費明細書でございますが、扶養手当、時間外勤務手当及び住居手当など、その増減と、さらには人事院勧告に伴う0.05カ月引き下げの期末手当も含め、調整を行っております。

また、54ページ、55ページに、会計年度任用職員以外の職員と会計年度任用職員別のそれぞれの明細を添付しております。

さらに、具体的な増減額の明細につきましては、次の56ページに給与及び職員手当それぞれの増減分として記載しているとともに、57ページ及び58ページに会計年度任用職員以外の職員と、会計年度任用職員別の明細を添付しております。

次に、52ページに戻りまして、特別職共済費、53ページの一般職の共済費それぞれの増加でございますが、共済に係る率の確定によるものでございます。

なお、介護保険特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、3会計の人件費に係る部分についても、給与改定等によるものでございますので、人件費に係る説明は省略させていただきます。

次に、各課等において共通する事項について説明を申し上げます。

最初に、新型コロナウイルス感染拡大防止、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援する新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金に係るものと、新型コロナウイルス感染症の影響により事業等が中止になったものについて、主なものを説明申し上げます。

それでは、16ページをお開きください。

上段、1款、1項、1目議会費、説明欄上段、費用弁償68万8,000円の減額は、研修会等の中止によるものでございます。

次に、17ページをお開きください。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、説明欄中段、中札内村川越市中学生交流事業交付金72万円の減額は、本事業の中止でございます。

次に、18ページをご覧ください。

説明欄、最下段、特別定額給付金230万円の減額は、本事業における事業費の確定によるものでございます。

併せて、特定財源の国庫補助金の同額230万円と、事務費分60万4,000円を減額するものでございます。

次に、21ページをお開きください。

2項企画費、3目まちづくり推進費、説明欄中段、食糧費135万円の追加及び、その下段、運搬料62万5,000円の追加は、本年、札幌及び東京ふるさと会の交流について中止となり、帯広ふるさと会もどうなるか見通せない中、これまで本村をいろんな面で支えていただいておりますふるさと会会員一人ひとりに、村の特産品を、村の近況報告も含め、送付しようとするものでございます。

次に、25ページをお開きください。

3款民生費、1項社会福祉費、3目老人福祉費、説明欄上段、食糧費65万円の減額は、例年9月に実施している敬老会の開催中止によるものでございます。

次に、30ページをお開きください。

4款衛生費、1項保険衛生費、4目健康づくり推進費、説明欄下段、健康メニュー開発委

託185万7,000円の減額は、本事業に中止によるものであります。

併せて、特定財源の国庫補助金89万1,000円と福祉基金繰入金を減額しようとするものでございます。

次に、36ページをお開きください。

7款、1項商工観光費、2目商工振興費、説明欄上段、緊急事態措置休業要請支援金320万円の減額は、先の6月定例会で決定いただきました補正予算による事業でございます。支給額の確定によるものでございます。

次に、41ページをお開きください。

9款、1項消防費、2目災害対策費、説明欄中段、防災用備品195万8,000円の追加は、感染予防対策備品として、庁舎等に来庁されるお客様に対し、体温を表示して健康状態を確認するデジタルサイネージを購入するものでございます。

特定財源として、国からの地方創成臨時交付金を同額充当するものでございます。

次に、42ページをご覧ください。

10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、説明欄上段、普通旅費86万8,000円の減額は、事業及び研修等の中止によるものでございます。

次に、44ページをお開きください。

4目国際交流推進事業費、説明欄中段、費用弁償53万円の減額、普通旅費53万円の減額及び中札内村青少年国際交流派遣研修事業費補助金350万円の減額については、ハワイとの国際交流事業の中止によるものでございます。

次に、45ページをお開きください。

その下段、3項小学校費、1目学校管理費、説明欄中段、教材備品85万6,000円の追加及び学校用コンピュータ420万円の追加は、中札内小学校において、昨年度3月から取り進めている国のGIGAスクール構想の実現に向けた公立学校情報通信ネットワーク環境整備事業に係るもので、令和3年度に更新を予定していた端末と、充電保管庫を前倒して整備するものでございます。

特定財源として、国からの地方創成臨時交付金を同額充当するものでございます。

併せて、46ページをご覧ください。

説明欄上段、教材備品18万2,000円の追加及び学校用コンピュータ35万8,000円の追加も、上札内小学校において、同様に整備するものでございます。

最下段、4項中学校費、1目学校管理費、説明欄、教材備品42万9,000円の追加及び、47ページ、最上段、説明欄、学校用コンピュータ224万円の追加も、中札内中学校において、同様に整備を行うものでございます。

次に、49ページをお開きください。

5項社会教育費、3目社会教育振興費、説明欄、最下段、中札内村南砺市小学生支援体験交流交付金45万円の減額は、南砺市との交流事業の中止によるものでございます。

それでは、戻っていただきまして、新型コロナウイルス感染症対応以外の補正予算について、説明を申し上げます。

17ページをお開きください。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、説明欄中段、消耗品157万円の追加は、現在、役場全課等でファイリングシステムにより、書類の整理し、利用しやすく保管場所を明確にし、検索時間を要さないよう取り進めておりますが、事務消耗品として、本システム用に活用する個別フォルダやラベルを購入するとともに、新型コロナウイルス感染症の情報も含め、周知を行っていることにより、コピー機器の利用増加に伴うコピーカウ

ンター料の追加を行うものでございます。

次に、18ページをご覧ください。

説明欄中段、新庁舎建設工事584万1,000円の追加は、現在、建設中の役場新庁舎の南東側角地の軟弱層における撤去及び、令和3年度において早期工事完了に向けた対策等を図るため、設計変更を取り進めるものでございます。

併せて、特定財源として、役場庁舎建設事業債380万円を追加しようとするとともに、継続費の補正について、役場庁舎外構整備事業における総額及び年割額についても変更するものでございます。

次に、21ページをお開きください。

2項企画費、3項まちづくり推進費、説明欄中段、会計年度任用職員報酬104万6,000円の追加は、ふるさと納税に係るワンストップ申請などの封筒詰めやその確認などの処理について、時間給のパート職員を任用して対応しようと、一般事務報酬を追加するものでございます。

次に、23ページをお開きください。

4項、1目戸籍住民費、説明欄最上段、会計年度任用職員報酬50万9,000円の追加は、マイナンバーカードの普及促進に伴い、その事務等を対処するため、交付事務担当職員を配置するものでございます。

次に、24ページをご覧ください。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、説明欄中段、福祉基金積立85万円の追加は、長崎武氏からの寄付金も含め、福祉基金への寄付金が増となったことによるものであります。

併せて、特別寄付金の福祉基金寄付金に同額85万円を追加するものでございます。

次に、25ページをお開きください。

説明欄中段、障がい者システム修正委託108万5,000円の追加は、令和3年度に予定されている報酬改定に伴う改修を行うものでございます。

併せて、特定財源として、国庫補助金54万2,000円も追加するものでございます。

その下段、説明欄、返還金284万6,000円の追加は、自立支援給付費交付申請額の国及び北海道への精算によるものでございます。

次に、29ページをお開きください。

4款衛生費、1項保健衛生費、3目診療所費、説明欄中段、建物改修工事2,879万6,000円の追加は、現在、中札内村立診療所の新体制に向けて準備を取り進めておりますが、診療所の改修工事を行うものでございます。

特定財源として、公共施設等整備基金2,870万円を充当しようとするものでございます。

また、当改修工事にある程度の期間を要することから、繰越明許も設置するものでございます。

次に、その下段、4目健康づくり推進費、説明欄下段、保健センター電話設備更新工事170万5,000円の追加は、現在、役場から保健センター及び文化創造センターから保健センターにおける電話を取り次ぐ内線が、電話機主装置の基盤等の摩耗により、音が聞こえにくい状況になっております。

今回、電話機装置や基盤などの設備更新をする改修を行うものでございます。

次に、33ページをお開きください。

6款農林業費、2項農業費、1目農業振興推進費、説明欄、地域担い手育成総合支援協議

会補助金92万4,000円の追加は、北海道から経営所得安定対策等推進事業に係る補助金追加割り当ての内示を受けたものでございます。

協議会において、備品等の購入を取り進めるものでございます。

併せて、特定財源である北海道補助金を同額の92万4,000円を追加するものでございます。

その下段、3目改善センター管理費、説明欄最下段、修繕料69万3,000円の追加は、改善センター1階及び2階の男子トイレの小便器自動水栓システム等、故障したもので、修繕を取り進めるものでございます。

次に、36ページをお開きください。

7款及び1項商工観光費、2目商工振興費、説明欄最上段、まちなかにぎわいづくり事業補助金222万5,000円の追加は、今年度1件の新規店舗施設整備事業の申請を見込み、追加するものであります。

併せて、特定財源として、商工業振興基金繰入金から、同額222万5,000円を追加するものでございます。

次に、その下段、3目観光費、説明欄中段、スノーアート事業補助金400万円の追加は、今年度においても、村観光協会において、スノーアート事業を実施予定するものでございますが、地域づくり総合交付金を活用して取り進めるものであります。

次に、40ページをお開きください。

8款土木費、5項住宅費、3目村営住宅管理費、説明欄、修繕料277万円の追加は、今後、冬期間における公営住宅の修繕が見込まれるため、増額するものでございます。

次に、43ページをお開きください。

10款教育費、1項教育総務費、3目学校教育振興費、説明欄中段、スクールカウンセラー報償49万9,000円の減額及び、その下段、スクールカウンセラー業務委託49万9,000円の追加は、小学校におけるスクールカウンセリングと中学校におけるスクールカウンセリング、双方の相談業務の件数の状況を考慮し、調整したものでございます。

その下段、説明欄下段、修繕料74万円の追加は、ひばりが丘にある教職員住宅の内部修繕等を行うものでございます。

その下段、会計年度任用職員人件費の総額290万5,000円の減額は、当初見込んでいた会計年度任用職員による教員の配置について、北海道費による教員配置となったことによるものでございます。

次に、48ページをお開きください。

5項社会教育費、2目施設管理費、説明欄、燃料費105万8,000円の減額は、中札内プールにおける燃料費であります。灯油単価のダウン及び使用量の減に伴うものでございます。

次に、51ページをお開きください。

13款諸支出金、1項及び1目特別会計繰出金、説明欄、介護保険会計265万5,000円、後期高齢者医療会計70万7,000円の追加、公共下水道会計372万5,000円の減額であります。それぞれの会計へ一般会計から繰出し及び繰入れをするものでございます。

次に、戻りまして、11ページをお開きください。

歳入について、主なものを説明いたします。

最初に、8款、1項、1目地方特例交付金、説明欄、減収補てん特例交付金189万2,000円の追加は、自動車税及び住民税の減収に対する補てんするものでございますが、

特例交付金金額が確定したため、増額するものでございます。

次に、その下段、13款国庫支出金、2項国庫補助金、5目土木国庫補助金、説明欄、最下段、社会資本整備総合交付金217万8,000円の減額は、橋りょう長寿命化事業における歳出執行額が確定し、補助金が確定したことによるものでございます。

次に、12ページをご覧ください。

14款道支出金、2項道補助金、4目農林業費補助金、説明欄、農産漁村地域整備交付金52万2,000円の減額は、村有林管理に係る歳出執行額が確定し、補助金が確定したことによるものでございます。

次に、13ページをお開ください。

17款繰入金、1項基金繰入金、4目ふるさと活性化基金繰入金、説明欄下段、710万円の追加は、高度無線環境整備推進事業負担金に充当していました国からの新型コロナウイルス感染症に対する臨時交付金を別事業に充当し、変更したことによるものでございます。

次に、14ページをご覧ください。

その下段、7目食と農業農村振興基金繰入金、説明欄400万円の減額は、牧場業務に係る委託費、工事請負費、備品購入費が確定したことによるものでございます。

次に、その下段、19款諸収入、6項、1目雑入、説明欄最下段、損失補償費、657万5,000円の増額は、札内川導水路工事に伴う損失補償費で、牧場の採草地に対する補償であります。

次が最後になります。

その上段の18款繰越金で、歳出に見合う額として、158万3,000円を追加し、調整したものでございます。

以上で一般会計補正予算の説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 次に、高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） それでは、黒ナンバー8番、国民健康保険特別会計補正予算書をご用意いただき、7ページをお開きください。

歳出予算について説明させていただき、関連する財源につきましても、併せて説明を加えますので、歳入側予算の説明は省略させていただきます。

2款保険給付費、1項、1目一般被保険者療養給付費、説明欄、療養給付費1,800万円の追加は、当初1カ月当たり1,850万円程度の支出を見込んでおりましたが、入院日数の増加などにより、年度末に向けての予算に不足を生じる恐れがあるため、月当たり2,000万円を見込み、所要額分として増額補正するものであります。

なお、ページ中列の財源内訳に記載するとおり、北海道からの保険給付費等交付金で同額を見込み、歳入予算において追加いたしております。

続きまして、後期高齢者医療特別会計の補正予算を説明いたします。

黒ナンバー10番、補正予算書の7ページをお開きください。

1款総務費、1項、1目一般管理費、説明欄、後期高齢者医療システム修正委託84万7,000円の追加は、税制改正による住民税基礎控除額の見直しに伴い、課税情報等の項目追加や役場内部における所得情報の連携、広域連合との電算処理システムとの連携を図るためのものであります。

なお、歳出予算の増額に係る財源は、ページ中列、財源内訳並びに6ページの歳入に記載しておりますとおり、本事業に係る広域連合からの臨時特例交付金として16万9,000円、残りの67万8,000円を一般会計からの事務費繰入金で見込み、歳入予算で追

加補正しております。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 次に、高桑福祉課長。

○福祉課長（高桑佐登美君） それでは、介護保険特別会計補正予算の補足説明をさせていただきます。

黒ナンバー9番、介護保険特別会計補正予算書をご用意いただき、8ページをお開きください。

歳出予算から説明させていただきますが、一部関係する財源につきましても、併せて説明を加えますので、同様の歳入側の説明は省略いたします。

上段、1款総務費、1項、1目一般管理費、委託料349万8,000円の増額は、介護保険法同法施行令の一部改正により、介護報酬改定などが翌年4月に施行されることから、所要額を追加し、介護保険事務のシステムの改修を行うものです。

なお、委託料に係る財源は、ページ中列に記載のとおり、国庫補助金として88万円は、人口規模による基準額の2分の1の補助を見込み、歳入側の予算で追加しています。

次に、2款保険給付費、2項、1目高額介護サービス等諸費、負担金補助及び交付金51万1,000円の増額は、高額介護サービス費の増加見込みによるもので、増額に伴う財源内訳は、ページ中列に記載していますが、国庫支出金の合計で13万2,000円、道支出金、一般会計繰入金がそれぞれ6万3,000円、支払基金交付金は13万7,000円を見込額として、6ページ、歳入においてそれぞれ計上しております。

4款地域支援事業費、1項、1目一般管理費の2万6,000円の減額は、給与改定に伴うもので、歳入側の一般会計繰入金を併せて減額しています。

続きまして、歳入を説明いたしますので、7ページをお開きください。

中段、7款繰入金、1項、1目一般会計繰入金、説明欄、事務費繰入金は、介護保険システム改修に伴う費用として、国庫補助金88万円を除く261万8,000円を計上しています。

その下、8款繰越金は、高額介護サービス費の特定財源分を除く11万6,000円を計上し、財源調整を行っております。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 次に、氏家施設課主査。

○施設課主査（氏家佑介君） それでは、簡易水道事業及び公共下水道事業特別会計補正予算について、補足説明申し上げます。

はじめに、簡易水道事業についてご説明申し上げます。

黒ナンバー11番、簡易水道事業特別会計補正予算書の7ページをお開きください。

歳出予算からご説明いたします。

1款簡易水道費、1項水道経営費、1目一般管理費、右側の説明欄中段、施設整備費、工事請負費61万8,000円の減額は、メーター取替工事の執行残となっております。

その下段、一般経費、公課費、消費税172万7,000円の減額は、確定申告の結果、還付となったことから減額するものであります。

一番下段、簡易水道事業基金積立金288万4,000円の追加は、今回の補正予算の財源調整を行うものです。

次に、ページをお戻りいただき、6ページをお開きください。

歳入予算についてご説明いたします。

上段、1款分担金及び負担金の共同施設維持管理負担金5万8,000円の減額は、歳出

の共同施設維持管理費の減額に伴い、それぞれの負担割合に応じて減額を行うものです。

下段、6款諸収入46万2,000円の追加は、先ほど、歳出でご説明しました消費税の確定申告に伴う還付金の追加となります。

以上で簡易水道事業の補足説明を終わります。

次に、公共下水道事業特別会計について、ご説明申し上げます。

黒ナンバー12番、公共下水道事業特別会計補正予算書の7ページをお開きください。

歳出予算からご説明いたします。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、右側の説明欄下段、一般管理費、公課費、消費税、149万9,000円の減額は、確定申告の結果、還付となったことから減額するものであります。

次に、8ページをお開きください。

2款浄化センター維持管理費、右側説明欄、委託料、脱水汚泥堆肥化処理委託409万6000円の追加は、水質の悪化に伴う汚泥量の増加に対応するための追加となっております。

次に、ページをお戻りいただき、6ページをお開きください。

歳出予算についてご説明いたします。

上段、4款繰入金372万5,000円の減額は、今回の補正予算の財源調整を行うものです。

下段、6款諸収入356万3,000円の追加は、先ほど、歳出でご説明しました消費税確定申告に伴う還付金の追加となります。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

これから6件を一括して質疑を行います。

質疑はありませんか。

7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） それでは、まずはじめに、一般会計補正予算の方の36ページで、商工観光費のまちなかにぎわいづくり事業補助金の220万円ですけれども、先ほどの説明をお聞きしますと1件の店舗施設に対する補助金だという説明があったのですけれども、この補助金、どのような事業形態の方の施設への補助金なのかということをもっとお聞きしたいと思います。

また、その事業を始めようとしている方は村内に住んでおられる方なのか、それとも村外から来て事業を始めようとするのか。

その辺についてもお聞きをいたします。

それと、公共下水道事業の浄化センターの維持管理費の委託料の件ですけれども、これ脱水汚泥堆肥化処理施設委託料ですか、400万円ほど。

今説明あったように、水質悪化のため汚泥量が増加したということで400万円ほど追加補正が出されているのですけれども、量が増えたということで増額するのも分かるのですけれども、これ以前、大規模牧場の方で処理されていたころはかなり金額的にも低かったのですけれども、そちらで指定管理者が変わって受け入れられないということで、多分民間業者の方が変わったと思うのですけれども、そこに変わってから非常に委託料が上がってきているのですよね。

以前、確か大規模で処理されていたころには500万円かそのぐらいで終わっていたものが、民間業者になってから1,000万円ぐらいになって、今回また汚泥量が増えたと

いうことで約1,500万円近くかかっているのですが、この辺、もう少し何か、再度大規模あたりと話し合いをして、そちらで何とか受け入れてもらって処理できないものなのか。

堆肥化センターの方ではやっぱり受け入れは困難だということを、前、決算か何かのときにお聞きしたのですけれども、この辺少し違った方向を考えていくべきではないかなというふうに思うのですけれども、その辺の考え方をお聞きしたいと思います。

まずその2点、お願いします。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） それでは最初に、まちなかにぎわいづくり事業の関係です。

今回、先ほど総務課長の補足説明もあったとおり、1件の新規店舗設置ということで意向が上がってきているところです。

業種につきましては、飲食業ということで、喫茶店といいますか、コーヒーカフェということで業種の方は希望をしております。

また、2点目の部分で、今回、新規店舗出店を考えている方が村民なのか村外の方なのかという点ですが、村外の方になります。

今回、店舗開設に伴って、村の方に移住されるという方になります。

○議長（中井康雄君） 氏家施設課主査。

○施設課主査（氏家佑介君） 下水道の脱水汚泥の関係でございます。

議員おっしゃるように、大規模草地育成牧場の方での対応につきましては、施設の問題ですとか人員の配置の問題がありまして難しいということでお聞きしております。

来年度に向けまして、現在の処理委託先以外の委託先で対応できないか交渉しているところでございます。

○議長（中井康雄君） 7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） まちづくり事業補助金ですが、村民の方だということですが、村の方へ移住してくるということなので、もともとは村民の方ではないということなのですね。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 村外の方になります。

今現在は、村外に住まわれていまして、開設に伴って、村内に移住してくるという形になります。

○議長（中井康雄君） 7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） 浄化センターの委託料の方ですが、ぜひ、もう少し安く受け入れてくれるようなところをやはりもっと考えていってもいいのではないかなと。

あと、大規模の方も再度話し合いをして、そちらで何とか受け入れてもらえれば、やはりかなり金額的には下がると思うので、その辺も何かもう一度検討する必要があるのではないかなというふうに思うのですけれども、その辺もできれば考えていただきたいという意見です。

○議長（中井康雄君） ご意見としてお伺いしておきたいと思います。

それでは、ほかに質疑ございますか。

2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 41ページの備品購入の件、先ほど説明をいただきましたけども、195万何千円。

庁舎内へ入場のところの体温計といいますか、あれを測る機器を説明されましたけども、

これ、何基で、その性能等々は、これが2、3日前に入った、その前にもまた、何か模擬的なものがあったのですけども、それらの機種との関係で、これを選ばれた理由か何かご説明があればお願いします。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 中西議員の質問にお答えしたいと思いますけども、デジタルサイネージ、これから6基購入したいというふうに考えております。

それで、今玄関に付いているものについては、デモ機です。

あの機器を購入するかどうかはこれから考えていきますけども、一応今のやつは一体型になっていますけども、一体型でない部分のものも、今検討しているところでございます。

この部分につきましては、一体化でないものも視野に入れながら、今後購入していくということで、6台を今購入していく予定で、役場庁舎、保健センター、文化創造センター、保育園に設置をする予定になっております。

○議長（中井康雄君） 2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 今、庁舎入ってくるところにあったのは、これはモデルというか、まだこれでは確定ということではないということで、6基を購入予定、同じ機種を6基用意するそのお考えもありますか。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 一応、役場には2基用意する予定をしております、4台は同じような形の住民向けのそういったような形でやっていくもの、住民の体調管理に関するもので、2基につきましては、職員も使うような形、少しグレードを落としたような形ものを想定しております。

○議長（中井康雄君） ほかに質疑ございますか。

4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 36ページのスノーアート事業補助金についてお聞きいたします。

ちょっと分からないので教えていただきたいと思います。

400万円補助金ということで、最初どこに補助を、どの団体に補助をするということになっているのかなと思ってお聞きしましたら、地域づくり総合と言っていましたよね。

そこのところもうちょっと詳しく教えていただきたいのと、今年400万円かけるということで、去年のスノーアートはどのぐらいかけてしたのか。

また、それと比較して、今年はまた何か追加されるのかとか、何か変わることがあれば、その事業内容なども教えていただきたいと思います。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） スノーアート事業の関係ですけども、スノーアート事業につきましては、村の観光協会が事業実施主体ということになります。

地域おこし協力隊の梶山智大さんが畑の中に絵を描くという事業なのですが、事業自体は村の観光協会が全体的な取りまとめを行うという形になりますので、この事業費の400万円につきましては、観光協会の方に支出する形になります。

ただ、この事業につきましては、北海道の方の地域づくり総合交付金というのを、今、北海道の方に所要見込みの申し込みをしているところです。

こちらの方、採択になった場合、北海道の方から観光協会の方に、この地域づくり総合交付金が入るといった形になりますので、事業の精算に伴って、道から入ってきた交付金については、村の方に返還していただくというような流れになっています。

あと、2点目の部分の昨年度の決算額、詳しい額を、今資料ちょっと持ち合わせてはいないのですが、昨年度の最終的な決算額は、事業費総体で大体300万円程度だったというふうに記憶をしております。

基本的な事業の中身は、昨年度と同様に今考えておりまして、スノーアートを見ていただくための、例えば、熱気球ですとか、あと、昨年度も農協青年部の方に協力をいただいて、トラクターの試乗体験ですとか、そういったイベントを開催しました。

事業の詳細はこの後また詰めていく形になるのですが、基本的には昨年度と、イベントの中身は同様にしていきたいというふうに考えています。

ただ、事業予算、今回400万円ということでみていますけれども、コロナ対策のやはり感染防止対策を十分注意しながら事業を開催するというのも視野に入れまして、予算の方は全体的にちょっと増加しているという部分でございます。

○議長（中井康雄君） 議場の空気の入れ替え等もしたいと思いますので、休憩をしたいと思います。

午後2時まで休憩いたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時45分

再開 午後 1時58分

○議長（中井康雄君） それでは、皆さんお揃いになりましたので、休憩前に引き続き会議を開きたいと思います。

ほかに質疑はございますか。

3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） それでは何点かお聞きを、参考に聞きたいというふうに思います。

まず、21ページの中段の執行状況等で報告のありました、今年、コロナにあつてふるさと会員との交流ができないということで、地場産品を送付したいということで200万円ほど出ているのですが、私も非常に理解できることでいいことだなと、こう思うのですが、そこで聞きたいのは、東京、札幌、帯広全部の会員に送付するというの費用だと思うのですが、全体で何名ぐらいになるのかということと、あと、枝豆などということですから、何か詰め合わせでも送るのかな。

その内容と併せて、来年度のことは分からないのですが、来年度の送付の予定というのかな、今、コロナが収束したらやめるとか、続いていたらまたやるとかって、そういう考えがあれば答えていただきたいというふうに思います。

それと、29ページの令和3年度からスタートする中札内診療所ですが、その建物改修工事ということで2,900万円ほど改修工事費出ていますよね。

それで、私たち議員の方は、先日の全員協議会で説明を受けて、おおよそこんなふうに改修されるのかなというふうに理解をいたすところでございますけれども、この場所については、住民が皆さん理解するところでもありますので、概要というのですか、分かりやすく住民が捉えられるようなことで、関心も高いと思いますので、かいつまんで説明をしていただきたいというふうに思います。

それと、40ページの村営住宅の修繕料ということで、先ほど、総務課長の方から補足説明がありました。

冬期間の修繕ということなのですが、ちょっと調べると、当初770万円ぐらい当初予

算で見えていた部分で、今回277万円追加ということですが、冬期修繕ということで、何か予定されているやに思うのですが、その内容等について、もし分かれば教えてほしいということです。

○議長（中井康雄君） この中で、診療所については説明等ありましたけれども、黒田議員おっしゃったとおり、かいつまんで結構ですのでお願いしたいと思います。

渡辺総務課課長補佐。

○総務課課長補佐（渡辺大輔君） それでは、私の方からふるさと会の件についてお答えいたします。

まず、今回送付させていただく人数ですけれども、帯広ふるさと会63人、札幌ふるさと会241人、東京ふるさと会217人、それと、予備としまして19人分見ておまして、合計540人分の予算を計上させてもらっています。

送るものですが、枝豆をはじめとする農産物の加工品を考えております。

一人当たり2,500円で考えております。

それから、来年度については、まだコロナの状況に応じてまた考えていきたいと思いますが、今回送付することによって、なかなか交流を図れておりませんので、これを機に、また、会の活動が活性化になればなというふうに思っております。

○議長（中井康雄君） 高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） 今回補正させていただいた建物改修工事の概要です。

今回の補正分については、主にと申しますか、全体額は内部改装の分であります。

一応3パターンに分けて説明させていただきますけれども、まずは建物自体の改修工事ということで、こちらは先にお話させていただいたとおり、室内・屋内の今あるものを撤去する、新たなものを取り付ける。

こういった工事、この間、図面で配布させていただきましたけれども、例えば入院用の部屋、こちらについては照明が暗い、天井にはまり込んだようなタイプなので、そういうのを改修したり、取り付けしてある棚類、あとはトイレ、病室にトイレが付いている部屋もありますので、そういうのを撤去させていただくという予算で、全体的に診療室のほか、待合だとかの全部含めまして、総額として2,000万円程度見込んでおります。

そのほかに、設備工事として、換気扇の取り付けですとか水回り改修、あとは外来で待合にあるトイレ。こちらの方が和式のトイレが付いているものですから、洋式化するですとか、あとは炊事場を新たに設ける、今まである流し台を交換する。

それなどの金額として、おおよそですが240万円程度。

最後になりますけれども、全体的な施設への冷房となりますとかなりのコストがかかるということで、居室ごとにエアコンを取り付ける考えであります。

こちらの方は、全部で今のところ13~15台、ちょっと検討している最中なのであれですが、そのぐらいの台数を取り付けるのに、費用としては620万円程度費用がかかるということで、その合計として、今回補正額として上げさせていただいています。

○議長（中井康雄君） 氏家施設課主査。

○施設課主査（氏家佑介君） 40ページの村営住宅管理費、修繕料の追加についてでございます。

冬期間新たに例年と違うものが発生するわけではございません。

ちょっとこれまでの間に臨時的な修繕が発生いたしまして、このままでは今後冬期間、通常ベースの修繕対応が難しいため補正するものです。

これまでにありました臨時的な修繕の内容としましては、まず、今年度、あけぼの団地と

中札内団地、改修工事やっているのですけれども、あけぼの団地の方につきましては、改修に伴い仮移転で一時的に引っ越すための住宅の修繕に65万円程度かかっております。

また、中札内団地につきましても、仮移転する際に、もともとの住宅の方、引っ越しした際に水抜栓等の工事で予定していない部分の修繕必要箇所が出てきましたので、そちらも60万円程度修繕かけております。

また、そのほか、例年より多い部分としましてオール電化住宅の蓄熱暖房機ですとかIHコンロの方の故障がありまして、部品等もうないものですから、新たに入れ替えるような形でこちらが80万円ほどかかっております。

このような形で、今回追加補正させていただいております。

○議長（中井康雄君） 3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） 診療所の改修については、今、課長の方から説明があったのですが、先ほど繰越明許でやるということで確か説明あったと思うのですが、大体工事期間、これからいくと結構かかると思いますので、診療と工事期間の関係かい、その辺をどういふうな調整されているのかということと、今、改修の説明があったのですが、割と分かりやすく言うとすれば、既存の病室があるところについては、例えば、会議室だとか医局があるとか院長室についてはこうなるのかって、そういう大きなことを言えば、ああここはそういう具合にこうなるのだなというそんな説明あるのかなと思ったけど、細かい改修の内容はいいので、大きく、今こういう部屋で使っているものはこういう変更するとかという、その方が一般の住民は分かりやすいのではないのかと思うので、もし分かれば追加で説明していただければなというふうに思います。

○議長（中井康雄君） そちら辺については黒田議員、これから住民説明会等もあるので、十分説明する機会はあると思うのですが。

高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） 先日ちょっと図面の方お渡ししているのですが、そこら辺は端折っていいのかなと思って説明させていただいたのですが、これ、ちょっと多分、内部を本当に知っている方でないと口頭で言ったら伝わらないのかなと思うのですが、とりあえず説明させていただきます。

まず、これについては、部屋の使い方を変えるというものではないのですが、今のある診療室、第1と第2と2カ所あるのですが、こちらの方は今、上から吊るすカーテン方式で人の視覚を遮る程度のものしか付けておりませんが、ここを壁で囲ってドアを取り付けるといふ工事がまず一つ入ります。

あと、各部屋、今、開き戸、押して入る、引っ張って入るといふドアを必要のところだけですが、ここは村民の方使われる部屋だけですが、スライド方式に変更させていただきます。

あと、今院長室で使っている部屋を発熱者外来の専用部屋として使う。

その横に医師室という部屋があるのですが、そちらの方は点滴を受ける方の専用部屋として使う。

あと、今入院患者が入ってられる病室が手前側に二つあるのですが、そちらの方、まず一つは会議室、打ち合わせの部屋として改修する。

もう一つについては医局、お医者さんたちが仕事するための専用部屋として改修する。

あと、器具室、今、レントゲンの撮った後のフィルムだとかをしまっている部屋、ちょっと暗い部屋があるのですが、そちらの方については改修して応接または家族との面談室という形で使う。

あとは、現在手術の方で使われていないということもあるので、手術室の手前の部屋、前室と言われる部分については、男性用の更衣室に変更する。

その奥にある準備室という部屋があるのですが、そちらの方はコンピュータ等々のサーバー室ということで専用で使うということになっております。

そのほか、部屋を変更するということで言いますと、待合ホールの横に管理人室、管理人自体、今置かれていないのですけども、こちらの方を、小さなお子さんがいる患者さんの授乳室として使う。

玄関両脇、今、待合で椅子ですとか配置されている部分ですが、キッズスペースと車椅子の専用の待合にして使うというふうに考えております。

○議長（中井康雄君） よろしいでしょうか。

3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） 工事期間の関係もちよっと質問したのですけど。

○議長（中井康雄君） 高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） 工事期間については、今回補正でご承認いただけましたら、すぐさま工事関係の入札等々を始めまして、これはちよっと日程これからなので確実なことは言えませんが、工事としては、私たちの考えているところでは、年明け2月ぐらいから、入れるところから入って進めていって、最終的には6月ぐらいまでには全部完了したいという考えでおります。

なので、先日も説明させていただきましたけども、できるだけ休診期間を設けない形で工事に入っていただくということで、業者が決まったら細部の調整をして進めたいというふうに考えています。

○議長（中井康雄君） よろしいでしょうか。

ほかに質疑はございますか。

5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 全員協議会のところでいろいろ説明聞いて、再度やり直すこともないのであるけども、待合室がかなり狭くて、こういう時期だから、患者が待つ場所にしては狭すぎると。

それが全員協議会の中でも言ったはずですけども、その辺は検討してもらっていますかね。

今の患者の中に、更別に行くともものすごく広い間隔を持ちながら患者座っているのですけども、今、このホールだけで待つといたら10人もいたらもう密になるぐらいのところだと思うのですけども、その辺の考えはいかがなものでしょうかね。

○議長（中井康雄君） 高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） 先ほど説明の中でも若干申し上げたのですが、今まで一体的になっている待合室ということで使っておりましたが、発熱の専用の待合室を別に設けるという形を取らせていただく予定になっています。

今の待合ホール自体を広げるとなると、玄関よりも前に突き出す形ぐらいしかちよっと方法としてはない、横側は両方部屋になっているものですから、なかなか改修してこのスペースを広げるというわけにもいかないですし、既存の柱等々を撤去するとちよっと構造自体に問題が出てくる可能性もございますので、とりあえずは今説明した形で走ってみて、将来的に溢れかえる状態になりましたら改めて検討することで行きたいというふうに考えています。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 構造的に分かるのですけども、これを狭いのにもた追加ということになるような気がするのだけども、これでやるのだったら最初からそういうふうにした方がいいのではないかと。

このコロナがいつ収束するか分からないのですけども、あの部屋の中で待合するというのはかなり困難があるのでないかと。

それで、前に全員協議会でも言ったのですけども、リハビリ室というのがあるのですけども、現在のところリハビリはしないような話もあったのですけども、その辺も考えてやるのか。

自分としては、とりあえずやってみて追加でなくて、もう最初から狭いのですから、少し金かかってもいいから最初からそういうふうに広く待合室をしたらいいのではないかと思うのですけども。

○議長（中井康雄君） 高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） リハビリ室、当面使う予定はございませんので、そちらの方の活用ということも考えていきたいなというふうに思っています。

ただ、議員おっしゃられるとおり、全面的な拡大の工事となると期間も相当なものがかかってしまいますし、逆に村民の方に迷惑かけるわけにもいかないのです、現状の計画のとおり進めさせていただきたいなという考えです。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 決めてしまったのかもしれないけども、今から言うておきます。

後からやるのなら今からやっておいてください。

そうしないと、また追加で、また病院の中に支障が生じるので、希望としては、やっぱり待合室をゆったり取れるような形の中の病院にして、全体を明るくしていただきたいと思えます。

○議長（中井康雄君） ご意見としてお伺いしたいと思います。

ほかに質疑はございますか。

2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 関連ですけども、診療所の件、非常に村民も住民も今心配をしているところではないかと思うのですけども、先の全員協議会でいろんな条件の話やら、今質問していた条件の件でお話を聞かせていただいておりますのですけども、これらの情報というのは、もう一般への周知は何かの機会に諮られる計画なのか。

まず1点。

○議長（中井康雄君） 高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） 先日、11月中ですけども、開催させていただいた行政区長会議の方では、ちょっと図面の配布まではさせていただきますでしたが、先日の全員協議会と同様の説明をさせていただいています。

この後、12月に入りまして、まちづくりトーク、今のところですが2日間開催される予定ですが、そちらの方では同じような情報を提供させていただきたいですし、今現在がちょっと進行中のこともありますので、決定次第そういった内容も追加して説明させていただければなというふうには考えています。

○議長（中井康雄君） 2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 徐々にそういうところでの発表があったということではありますけども、何か先日すごく決まったような話で耳に入った状況があったのですよね。

今の入院病室はもうクローズして、すぐに患者さんはどこかに行かなければならない。

話の中でちらっと噂で聞いていたのですけども、中札内診療所という名称も変更まで、何か話されているような、そんな情報がちらっと、噂でしょうけども、何か私たちが全員協議会で聞いた以上のものが村民の方々、不安なのか、情報として持つておられるのか。

どんどん職員体制だとかそんなのまでも具体的に話していたのが耳に入るというのが気になったのですけども、そういう状況の周知はどこまでがされているのか。

何かちょっと心配が先行しているのか、住民の。

そういう思いもするのですけども、何かありましたら。

○議長（中井康雄君） 高島住民課長。

○住民課長（高島啓至君） 名称の変更については、可能性全くありません。

なぜかと申しますと、午前中の会議で診療所条例の改正させていただいて、名称自体謳われているものですので、これが別の名前になるということは単なる噂かなというふうに思っています。

多分、どうなるのだという気持ちが先行しているんな噂が流れているのかなというふうには理解しますけども、ただ、村の方としまして、決定されていない事項を予定だ予定だというふうに何回も説明を繰り返して、その後変更になるというそういう事態は避けたいなと思っていますし、時期が遅いというのもご意見でいただいたとおりです。

ただ、今後については、今ある情報に新しい情報を含めて追加させていただいて、いろんな場面で説明をさせていただきたい。

また、先ほど言った12月中のまちづくりトークのほかにも、住民を集めて説明会を開催するというような考えもありますので、ちょっと時期ですとか場所については未定ですけども、そういう考え持っていますので、ご理解いただきたいというふうに思っています。

○議長（中井康雄君） よろしいですか。

ほかに質疑はございますか。

それでは、これで質疑を終わりたいと思います。

議案第97号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第97号、令和2年度中札内村一般会計補正予算についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第97号は原案のとおり可決されました。

議案第98号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第98号、令和2年度中札内村国民健康保険特別会計補正予算についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第98号は原案のとおり可決されました。

議案第99号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第99号、令和2年度中札内村介護保険特別会計補正予算についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第99号は原案のとおり可決されました。

議案第100号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第100号、令和2年度中札内村後期高齢者医療特別会計補正予算についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第100号は原案のとおり可決されました。

議案第101号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第101号、令和2年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第101号は原案のとおり可決されました。

議案第102号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第102号、令和2年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第102号は原案のとおり可決されました。

本日の日程はすべて終了しました。

12月10日まで休会とし、本日はこれで散会します。

散会 午後 2時26分